



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 安田倉庫株式会社
 コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤田 久行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 ゆかり
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日

TEL 03-3452-7311
 平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,788	4.9	981	△15.5	1,266	△10.4	838	△9.8
29年3月期第2四半期	19,809	2.4	1,161	19.9	1,414	24.5	929	60.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,850百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △504百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	28.43	—
29年3月期第2四半期	30.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	113,916	63,831	55.8
29年3月期	109,156	61,188	55.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 63,596百万円 29年3月期 60,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	7.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,700	5.0	1,850	△28.2	2,400	△22.6	1,600	△23.2	54.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	30,360,000 株	29年3月期	30,360,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	854,592 株	29年3月期	854,542 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	29,505,433 株	29年3月期2Q	30,347,578 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善し個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物の荷動きは堅調に推移したものの企業間競争の激化などがあり、また、不動産業界では賃料水準は本格的な回復には至らず、依然として厳しさの残る状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、「お客様のビジネスをサポートするグローバルな物流会社」としてお客様と共に成長する、を掲げ、「中期経営計画2018」の目標達成に取り組んでおります。その一環として、物流事業では、国内外における物流施設の増強による事業基盤の強化を図り、不動産事業では、既存施設の稼働率の維持・向上に努めるとともに、保有資産の再開発を進め、事業拡大を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益では、物流事業、不動産事業とも前年同期比で増収となり、前年同期比978百万円増（4.9%増）の20,788百万円となりました。営業利益では、物流施設の新設に伴う営業費用の増加などにより、前年同期比180百万円減（15.5%減）の981百万円、経常利益は前年同期比147百万円減（10.4%減）の1,266百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比90百万円減（9.8%減）の838百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りです。

物流事業では、営業収益は既存顧客の取引拡大などにより国際貨物取扱料や倉庫作業料などが増加し、前年同期比738百万円増（4.2%増）の18,246百万円となった一方、セグメント利益は物流施設の新設に伴う営業費用の増加などにより、前年同期比291百万円減（22.1%減）の1,025百万円となりました。

不動産事業では、賃貸オフィスビルの取得による不動産賃貸料の増加などにより、営業収益は前年同期比301百万円増（12.1%増）の2,804百万円、セグメント利益は、前年同期比140百万円増（19.0%増）の878百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産や投資有価証券の時価評価が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ4,760百万円増の113,916百万円となりました。

負債については、長期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ2,118百万円増の50,085百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ2,642百万円増の63,831百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末同様の55.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ582百万円減の3,315百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などの資金増加と、法人税等の支払等による資金の減少により1,058百万円の資金収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得により3,428百万円の資金支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の増加により1,801百万円の資金収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,910	3,331
受取手形及び営業未収金	5,865	5,891
繰延税金資産	282	295
その他	499	736
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	10,555	10,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,220	29,467
機械装置及び運搬具（純額）	1,205	1,214
工具、器具及び備品（純額）	564	601
土地	21,683	21,683
建設仮勘定	3,465	3,216
有形固定資産合計	54,140	56,183
無形固定資産		
借地権	1,016	1,016
その他	1,695	1,668
無形固定資産合計	2,712	2,684
投資その他の資産		
投資有価証券	40,403	43,444
繰延税金資産	181	180
その他	1,187	1,196
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	41,747	44,795
固定資産合計	98,600	103,663
資産合計	109,156	113,916

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,683	2,547
短期借入金	4,150	4,550
1年内返済予定の長期借入金	5,261	4,973
未払法人税等	757	405
未払費用	958	1,050
その他	1,396	948
流動負債合計	15,207	14,475
固定負債		
長期借入金	15,366	17,264
繰延税金負債	11,031	11,927
退職給付に係る負債	2,211	2,252
長期預り敷金保証金	3,788	3,824
その他	360	340
固定負債合計	32,759	35,610
負債合計	47,967	50,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	29,623	30,255
自己株式	△662	△662
株主資本合計	35,365	35,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,790	27,849
為替換算調整勘定	△218	△262
退職給付に係る調整累計額	13	12
その他の包括利益累計額合計	25,585	27,598
非支配株主持分	237	234
純資産合計	61,188	63,831
負債純資産合計	109,156	113,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益		
保管料	3,141	3,129
倉庫作業料	3,717	3,984
陸運料	5,525	5,525
国際貨物取扱料	3,338	3,788
物流賃貸料	790	827
不動産賃貸料	1,793	1,959
その他	1,502	1,573
営業収益合計	19,809	20,788
営業原価		
作業費	9,061	9,666
人件費	3,357	3,482
賃借料	916	1,093
租税公課	434	452
減価償却費	1,142	1,087
その他	2,397	2,629
営業原価合計	17,309	18,412
営業総利益	2,499	2,375
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	608	625
福利厚生費	95	111
退職給付費用	20	19
減価償却費	56	55
支払手数料	200	203
租税公課	111	133
その他	244	245
販売費及び一般管理費合計	1,338	1,394
営業利益	1,161	981
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	347	380
雑収入	28	25
営業外収益合計	379	409
営業外費用		
支払利息	121	114
雑支出	4	9
営業外費用合計	126	123
経常利益	1,414	1,266

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	6	6
特別利益合計	6	6
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	22	17
投資有価証券評価損	37	-
中途解約損	-	10
特別損失合計	60	28
税金等調整前四半期純利益	1,360	1,245
法人税、住民税及び事業税	435	429
法人税等調整額	△7	△23
法人税等合計	427	406
四半期純利益	933	838
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	929	838

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	933	838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,128	2,058
為替換算調整勘定	△303	△45
退職給付に係る調整額	△5	△0
その他の包括利益合計	△1,437	2,012
四半期包括利益	△504	2,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△491	2,852
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,360	1,245
減価償却費	1,198	1,143
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23	39
受取利息及び受取配当金	△351	△383
支払利息	121	114
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△5
固定資産廃棄損	22	17
投資有価証券評価損益 (△は益)	37	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△260	△30
仕入債務の増減額 (△は減少)	△189	△132
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	244	35
その他	△30	△475
小計	2,171	1,565
利息及び配当金の受取額	349	382
利息の支払額	△122	△113
法人税等の支払額	△370	△776
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,028	1,058
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△41
定期預金の払戻による収入	10	37
有形固定資産の取得による支出	△3,202	△3,275
有形固定資産の売却による収入	7	7
無形固定資産の取得による支出	△57	△54
投資有価証券の取得による支出	△0	△74
その他	△132	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,376	△3,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	800	1,200
短期借入金の返済による支出	△800	△800
長期借入れによる収入	3,700	4,400
長期借入金の返済による支出	△2,657	△2,789
配当金の支払額	△212	△206
その他	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	826	1,801
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△589	△582
現金及び現金同等物の期首残高	3,198	3,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,609	3,315

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報
前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	17,501	2,307	19,809	—	19,809
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	6	195	202	△202	—
計	17,508	2,503	20,011	△202	19,809
セグメント利益	1,317	738	2,055	△894	1,161

(注) 1. セグメント利益の調整額△894百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△889百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	18,232	2,555	20,788	—	20,788
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	14	249	263	△263	—
計	18,246	2,804	21,051	△263	20,788
セグメント利益	1,025	878	1,904	△923	981

(注) 1. セグメント利益の調整額△923百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△909百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。